

プラごみ問題について考える

～安心して暮らせる未来のために～



安価で便利な素材として過剰に生産・消費され、大量に捨てられるプラスチック。マイクロプラスチックや海洋プラごみ問題が大きな話題となり、プラスチックの削減と資源循環のあり方が、持続可能な世界にとって最大の課題の一つとなっています。

2022年4月に「プラスチック資源循環法」が施行され、事業者も含めてさまざまな取り組みがされていますが、日本におけるプラごみ問題への対応をどう見たらいいのか？ どうすればプラごみは減らせるのか？ 消費者ができることはなにか？ など、現時点での政策的な動向や「熱回収」、「バイオプラスチック」への評価も含めてお話をいただきます。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしています。

日 時：12月8日（木） 13:00～14:20

開催方法：オンライン（Zoom）での学習会

講 師：栗岡 理子さん（日本消費者連盟・環境部会、環境ジャーナリスト）
ープロフィールー

1980年代からごみ問題を扱う市民団体で活動。2018年博士課程修了（専門は環境経済学）。著書「プラスチックごみ問題入門」「散乱ペットボトルのツケは誰が払うのか」ほか。



申し込み方法

◆お申し込みは、以下のいずれかの方法でお願いします◆

①右の二次元コード、もしくは下記 URL から
<https://forms.gle/KXtPRkZQPqv5YSyW8>



②メール：kanagawakensyoudanren@gmail.com（神奈川県消費者団体連絡会 庭野・佐々木）
※メールには「所属団体名」「氏名」「電話番号」「資料データ受信可能なメールアドレス」の記載をお願いします。

申し込み締切り 12月5日（月）

主催：神奈川県消費者団体連絡会

<お問い合わせ> 神奈川県消費者団体連絡会 庭野・佐々木まで（TEL：045-473-1031）